

もっと知りたい!

# 遠野の予算

The description of Tono city budget .

仕事

子育て

地域

## まるごと応援予算

## 施政方針

施政方針とは、新年度の市政運営に対する考えや主要事業について示すもの。平成30年3月の市議会定例会で本田敏秋市長が表明した、「遠野市長施政方針演述」の要旨をお伝えします。

【お知らせ】 演述の全文は、市ホームページに掲載しています。

遠野市 平成30年度施政方針演述

検索

# 遠野が一致団結し、 総合力を、今こそ。



### 人と人、地域と地域がつながる

昨年は、待望久しい市役所本庁舎が完成。本庁舎は、中心市街地、さらには市全体の活性化に取り組んでいく遠野の発信拠点となります。

また、米国・チャタヌーガ市と姉妹都市になることができました。さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウンに、本市が登録されました。遠野出身の人類学者・伊能嘉矩先生の功績をきっかけに、国立台湾大図書館との文化交流協定も締結できました。

人と人のつながりが、地域と地域のつながりに結びついてまいりました。

間もなく、東北横断自動車道釜石・秋田線の全線が開通します。また、2019年にはラグビーワールドカップが釜石市で開催され、国内外から多くの方が本県を訪れます。これらをチャンスと捉え、地域経済の好循環・拡大につなげます。

### 4月に行政組織を再編

本年は、「第2次遠野市総合計画」の3年目、中間年となります。部局間の連携を密にし、着実な推進、果敢な挑戦、堅実な運営に努めてまいります。

4月からの行政内部の組織再編については、▷市総合計画の2つの共通優先方針である「産業振興・雇用確保」「少子化対策・子育て支援」に対応▷スリム化▷シンプルで分かりやすいを基本方針として行います。現行の12部54課室等を、8部42課室等に再編し、行政運営の効率化、行政サービスの向上、職員数の適正化を図ってまいります。

※組織再編の詳細はP12以降で紹介します

### 予算の特徴は3つ

平成30年度予算は「仕事、子育て、地域、まるごと応援予算」と位置付け、総額177億8千万円で編成。組織再編を見据え、地方創生の実現に向け、連携事業の再編成を図りました。編成にあたっては▷産業振興・雇用確保▷少子化対策・子育て支援▷小さな拠点(地域)づくりの3つを重点化しました。

※予算の詳細と主要施策については、次ページ以降でお知らせします

### 「総合力」というチカラ

この1月、市内11の神楽団体が一堂に会する「遠野郷神楽共演会」が開催されました。「競い演じる」のではなく「共に演じる」というネーミングから、地域の愛着、そして、伝統文化を絶やしてはならないという思いが伝わってまいりました。プログラムの4番目は大出早池峰神楽保存会による三番叟舞。5歳の石橋健太郎君が、一生懸命に、遠野の長い歴史と伝統を、小さな体で表現しておりました。地域のこだわりを神楽の舞に乗せ、地域のつながりを結集したその姿に、私は総合力という力の大きさを、改めて感じ取ることができました。競うのではなく、共にこだわりを大切にし、家族、地域が一体となり、次世代に引き継いでいく。そのつながりの大切さを健太郎君が体现していたようにも見えました。

子どもたちの成長を支え、夢を叶える取り組みを後押ししてくれているのは、地域の皆さんです。そして、多くの団体、ボランティア、企業の皆さんです。子どもたちの活躍に触れるたび、関係機関と連携した取り組み、総合力を発揮しての取り組みが、いかに大事であるのかを、改めて認識しました。

### 遠野の資本とは

明治時代に殖産興業の指導者・起業家として活躍した遠野出身の山奈宗真は、立丸牧場の開牧を岩手県令(現在の岩手県知事)に願い出た際、「資本はいくらか」と問われ、

「資本はありません。しかし、家族和順同盟一致を以って資本となし、和順一致を以って労働するときは、数万の資本に増るでしょう」

と胸を張って答えたと言われています。

「家族仲良く一致団結することが資本であり、家族が力を合せて働くことこそ数万の資本に勝る」との教えです。遠野には、地域と地域のつながりという資本があります。今こそ、関係機関・団体が一致団結し、地域資源を生かし、総合力を発揮し、力強く歩みを進めていかなければなりません。

「組織の壁・制度の壁」の打開に挑み、そして越えることが最も難しい「意識の壁」を打ち破ることにより、市政課題に対し、市民一丸となり、総合力で取り組んでまいります。

【テーマ】

# 仕事、子育て、地域、まるごと応援予算

平成30年度は、「仕事、子育て、地域、まるごと応援予算」と位置付け、新規23事業を加えた377事業、総額177億8,000万円(前年度比0.1%減)で編成しました。労働環境のさらなる整備、子育て支援の充実、小さな拠点(地域)づくりに取り組み、潤いのある暮らしと地方創生の実現を目指します。

平成30年度当初一般会計予算総額

177.8000 億 万円

前年度比  
1,000万円

減額 コストダウン  
(前年度比0.1%減)

平成29年度 384事業 見直し → 平成30年度 377事業(うち、新規23事業)

特別会計予算総額 95.128 億 万円(0.2%減)

※端数処理をしているため、下記の合計と総額は一致しません

特別会計	予算額
国民健康保険【保険事業分】	32億 184万円
国民健康保険【直営診療施設分】	9,611万円
後期高齢者医療	3億3,243万円
介護保険【保険事業分】	35億6,515万円
介護保険【介護サービス事業分】	1,574万円
ケーブルテレビ事業	5億 927万円
農業集落排水事業	7,546万円
下水道事業	8億6,617万円
遠野東工業団地整備事業	8億3,912万円

公営企業会計予算

遠野市の水道に関する予算です。  
 収益的収入 ▶ 7億7,100万円(0.3%減)  
 支出 ▶ 7億1,213万円(2.2%増)  
 資本的収入 ▶ 5億4,721万円(115%増)  
 支出 ▶ 9億2,484万円(50.5%増)

※( )は前年度比

特別会計予算とは？

特定の目的のための予算で、一般会計とは別に会計する。本市には9つある。

公営企業会計予算とは？

民間企業と同じように事業収益を上げて運営している予算。本市は、水道事業会計予算のみ。

共通優先方針

仕事

## 産業振興・雇用確保

(58事業、14億2,500万円)

産業振興基金による新たな仕組みづくりにチャレンジするとともに、遠野東工業団地の整備と合わせ、1次産業から6次産業まで含めた「労働力確保」に集中して取り組みます。また、東北横断自動車道釜石・秋田線の全線開通と国道340号立丸峠トンネルの開通に合わせ、観光交流事業を推進するための体制も構築します。

【主な事業】

- ★若者しごとサポート事業費
- ★道の駅魅力アップ事業費
- ★米産地戦略推進事業費
- ★ビールの里づくり事業費



共通優先方針

子育て

## 少子化対策・子育て支援

(38事業、16億9,100万円)



元気わらすっこセンター(市役所東館庁舎)のリニューアルに合わせ、子育て・産後ケア相談の充実を図るとともに、社会的支援の必要な子どもたちへのサポートを強化します。老朽化する児童館の整備方針についても検討。ソフト・ハード両面から、切れ目ない子育て環境づくりを推進します。

【主な事業】

- ★わらすっこの居場所整備推進調査事業費
- ★母子あんしん相談支援事業費
- ★外国語指導助手招へい事業費
- ★健康スポーツ施設整備事業費

地域

## 小さな拠点(地域)づくり

(26事業、4億2,300万円)

地域の実情に合った使い方ができる一括交付金を全11地区に交付し、地域のやる気と元気を応援。防災力の強化、生涯学習施設の充実、地域環境保全活動などを支援し、地域力の強化と潤いのある暮らしの実現を目指します。また、地域活動の拠点となる鱒沢地区センターの施設整備にも着手します。

【主な事業】

- ★地域まるごと応援事業費
- ★まちまるごと防災事業費
- ★地域福祉連携推進事業費
- ★小さな拠点改修整備事業費



## 収入

市の収入には、市税や国と県からの交付金、銀行などから借りるお金などがあります。

### ①市税

25億8,755万円 皆さんに納めていただいているお金

### ②繰入金・諸収入等

24億4,633万円 施設の使用料や基金(貯金)の取り崩しなど

自主財源

市が自ら得ることのできる収入を自主財源(①②)といいます。

### ③地方譲与税・地方消費税交付金・地方交付税等

83億237万円 皆さんが国に納めているお金の一部

### ④国や県からの支出金

31億2,295万円 国や県からの使い道が決められているお金

### ⑤市債

13億2,080万円 銀行などから借りるお金

依存財源

国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたりする収入を依存財源(③④⑤)といいます。

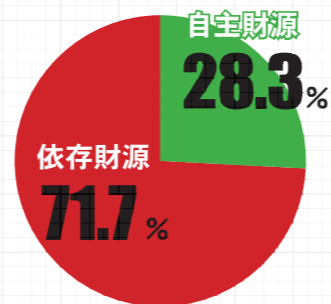
## 個人所得の増などにより、自主財源が微増。

「自主財源」のうち、市税は雇用情勢の回復傾向による個人所得の増などから、前年度比7,230万円の増を見込んでいます。

「依存財源」は、国の動向や昨年度の実績見込額などから考慮し、地方交付税を74億4,614万円(前年度比7,266万円増)、地方消費税交付金を5億2,000万円(同3,700万円増)見込んでいます。

国庫支出金は、平成28年の台風災害に係る復旧事業や附馬牛保育園・児童館の整備が概ね完了することなどから、1億7,243万円減額する見込みです。

市が独自に確保できる自主財源は全体の28.3%で、前年度より1ポイント増加したものの依然として乏しく、国や県からの依存財源に頼る財政状況が続いています。



教育や福祉、医療のほか、道路整備、災害対応など皆さんの暮らしのために使われます。

## 支出

### ①人件費

30億9,740万円 市職員の給料や議員報酬などに

### ②扶助費

28億3,268万円 生活保護、障がい者の支援、福祉や医療に

### ③公債費

25億9,429万円 借金の返済に

④普通建設事業費 17億7,799万円 道路の整備、公共施設の新築や補修などに

⑤災害復旧事業費 4,000万円 自然災害などの復旧に

⑥物件費 33億1,130万円 電気・水道・燃料や事務用品などにかかるお金

⑦補助費等 14億3,414万円 各種団体への補助金や負担金などに

⑧繰出金 19億1,207万円 特別会計予算などに

⑨積立金等 7億8,013万円 基金(貯金)への積立などに

義務的経費

投資的経費

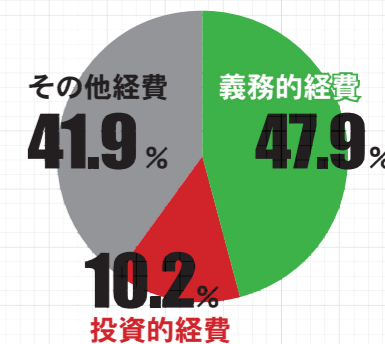
その他経費

## 経費削減のため、人件費を約2,200万円抑制。

「義務的経費」は法令などで定められた経費のこと。①人件費は、正規職員と非常勤職員の人員削減を行い、前年度比約2,200万円の減。②扶助費は、老人福祉費が増えているものの、少子化により母子などに使う費用が減っていることなどから約1,900万円の減。③公債費は、プライマリーバランス(借金する額と借金の返済に充てる額

の差)の黒字化を堅持し、前年度比約1億2,400万円の減としました。

「投資的経費」は市民が利用する道路や建物などに使うお金のこと。④道路整備などを行う普通建設事業費は、前年度比約1億7,100万円の増。⑤災害復旧事業費は、台風災害からの復旧作業の完了などにより、約1億9,300万円の減となりました。



市民一人あたりの年間経費を紹介(金額順) ▶ 総額 **641,391円**

※( )は前年度との差額。本年1月31日現在の人口(27,721人)で算出

costs



**民生費**  
高齢者や子どもの福祉などに  
165,954円(-1,380円)



**公債費**  
借りたお金の返済に  
93,586円(-2,700円)



**総務費**  
市役所の運営、建設などに  
91,686円(-703円)



**土木費**  
道路や公園などの整備に  
68,521円(+8,350円)



**教育費**  
学校や社会教育などに  
60,412円(-905円)



**衛生費**  
病気の予防やごみ処理などに  
53,650円(+5,010円)



**農林水産業費**  
農業、林業、畜産業などの活性化に  
46,241円(+2,758円)



**商工費**  
商業、工業の振興に  
31,282円(+6,929円)



**消防費**  
消防・防災、救助活動に  
21,163円(+136円)



**議会費**  
議会運営に  
5,646円(+62円)



**労働費ほか**  
雇用の拡大・定着などに  
1,807円(+422円)



**災害復旧費**  
台風10号からの災害復旧などに  
1,443円(-6,815円)

# 主な事業

平成30年度の新規事業や主な事業を、5つの大綱に分けて紹介します。

## 大綱 1

### 自然を愛し 共生するまちづくり

**新規!**  
★携帯電話等エリア整備事業費 **1,796万円**

附馬牛町荒川地区の携帯電話基地局を整備し、携帯電話の電波が届かない地域の解消を図ります。

**新規!**  
★消防団消防操法事業費 **598万円**

市消防団の消防操法技術向上を図るため、大会参加費用などをバックアップします。

★安心安全な道づくり事業費 **1億6,012万円**

生活に身近な道づくり事業計画に基づき、地域の道路環境を整備します。

★道の駅魅力アップ事業費 **2億5,006万円**

道の駅「遠野風の丘」の機能充実に向け、施設のリニューアルなどを行います。



★災害公営住宅整備事業費 **2億1,064万円**

東日本大震災で被災された方のための災害公営住宅を、今年度は稲荷下団地に6戸整備します。

★橋梁長寿命化整備事業費 **1億4,900万円**

老朽化が進んでいる橋梁の安全対策などを行います。



【その他の主な事業】

◎明るく安全なまち推進事業費	2,510万円
◎水道ビジョン推進事業費	1億2,514万円
◎消防防災施設等整備事業費	2,401万円

## 大綱 2

### 健やかに 人が輝くまちづくり

**新規!**  
★母子あんしん相談支援事業費 **427万円**

子育て期のさまざまなニーズに対し、切れ目ない相談支援を実施します。



**新規!**  
★わらすっこの居場所整備推進調査事業費 **80万円**

児童館や児童クラブの施設整備に向けた調査を開始します。

**新規!**  
★母子家庭等対策総合支援事業費 **160万円**

貧困に陥りやすい母子家庭などの自立支援のため、職業訓練などに要する費用を支援します。

★地域福祉連携推進事業費 **1,726万円**

関係機関の連携を強化し、介護や子育て、生活困窮など、さまざまな相談に応じる体制を構築します。

★健康スポーツ施設整備事業費 **1,674万円**

テニスコートの人工芝を改修するなど、遠野運動公園の施設を整備します。



【その他の主な事業】

◎障害者自立支援介護給付費	5億9,307万円
◎助産院ねっと・ゆりかご推進事業費	990万円

## 大綱 3

### 活力を創意で築くまちづくり

**新規!**  
★若者しごとサポート事業費 **2,208万円**

若者の安定した生活と、定着・定住を応援するため、家賃補助やキャリア形成支援などを行います。

**新規!**  
★農業次世代人材投資資金事業費 **3,225万円**

若手就農者に対し、経営の不安定な就農初期段階に安定した生活が営めるよう資金を交付します。

**新規!**  
★米産地戦略推進事業費 **925万円**



遠野産米の生産をバックアップします。

**新規!**  
★森林・山村多面的機能発揮対策事業費 **493万円**

小規模な森林整備など山の環境整備を推進します。

**新規!**  
★どぶろく特区活性化事業費 **270万円**

本市で開催される全国どぶろく研究大会を支援し、遠野産どぶろくを全国にPRします。



★遠野東工業団地整備事業費 **1億2,732万円**

工業団地に接続する市道の整備などを行います。なお、団地の敷地造成は特別会計(P4)において並行して実施します。

**新規!**  
★ビールの里づくり (TKプロジェクト)事業費 **200万円**



本市と麒麟ビールによる「TKプロジェクト」をさらに盛り上げます。

【その他の主な事業】

◎中山間地域いきいき暮らし活動支援事業費	30万円
◎アスト重点推進品目栽培支援事業費	1,368万円
◎商店街街路灯LED化促進事業費	200万円

## 大綱 4

### ふるさとの文化を育むまちづくり

新規!

#### ★小さな拠点改修整備事業費 1,519万円

鱒沢地区センターの整備に着手し、市内全11地区の「小さな拠点」の早期完成を目指します。

#### ★外国語指導助手招へい事業費 1,781万円

小・中学校などで英語を教えるALTを3人に増員し、児童生徒の異文化理解と語学力向上を図ります。



新規!

#### ★博物館映像等整備事業費 3,114万円

市立博物館の映像設備のリニューアルと、外国人向けの多言語案内システムの導入を行います。

#### ★重要文化財千葉家住宅整備事業費 1億4,397万円



千葉家住宅の保存・活用に向けた修理工事(10年計画)を30年度も引き続き行います。

#### 【その他の主な事業】

◎特別支援教育推進事業費	2,169万円
◎通学対策費	7,530万円
◎特定教科集中対策事業費	564万円
◎学びのまちづくり推進業費	5,670万円

## 大綱 5

### みんなで考え支えあうまちづくり

新規!

#### ★ホストタウン交流事業費 217万円

東京2020五輪・パラ五輪のホストタウン交流活動を推進します。

写真提供/日本フラインドサッカー協会



新規!

#### ★地域まるごと応援事業費 6,317万円

一括交付金の交付や地域活動専門員の配置により、地区センターを拠点とした地域活性化を図ります。

#### ★遠野スタイル地域経営改革推進事業費 1,394万円



第三セクターなどの経営改革や地域コミュニティの再構築に向けた検討を外有識者を交えて行います。

#### ★広域連携推進事業費 1,330万円

近隣市町などと協力・連携し、スポーツ振興や観光誘致、情報発信などに取り組めます。

#### ★道と川の市民協働推進事業費 760万円

河川清掃や市道の草刈りなどを市民と一緒に、安全で美しい地域づくりに取り組みます。

#### 【その他の主な事業】

◎みらい創りカレッジ推進事業費	820万円
◎高校魅力化サポート事業費	666万円
◎遠野ふれあい交流センター改修事業費	5,303万円
◎市議会議員選挙費	4,832万円

## 健全財政のために

健全財政を維持するための本市の取り組みを紹介します

**平**成30年度の予算編成にあたっては、施設管理費や事務費などの経常的経費の2割削減に取り組み、約1億7,800万円をねん出。削減した費用は、産業振興などの主要事業に充てています。さらに、3年ごとに実施している補助金の見直しでは、約1,300万円減額することができました。

遠野東工業団地周辺の環境整備や道の駅「遠野風の丘」の拡張整備などの大型事業には、返済時に国の支援が受けられる市債(借金)を活用します。これにより、実質的な市の負担は借金残高の約3割となり、将来の負担を軽減することが可能です。今後も、最適な借入れ方法を選択します。

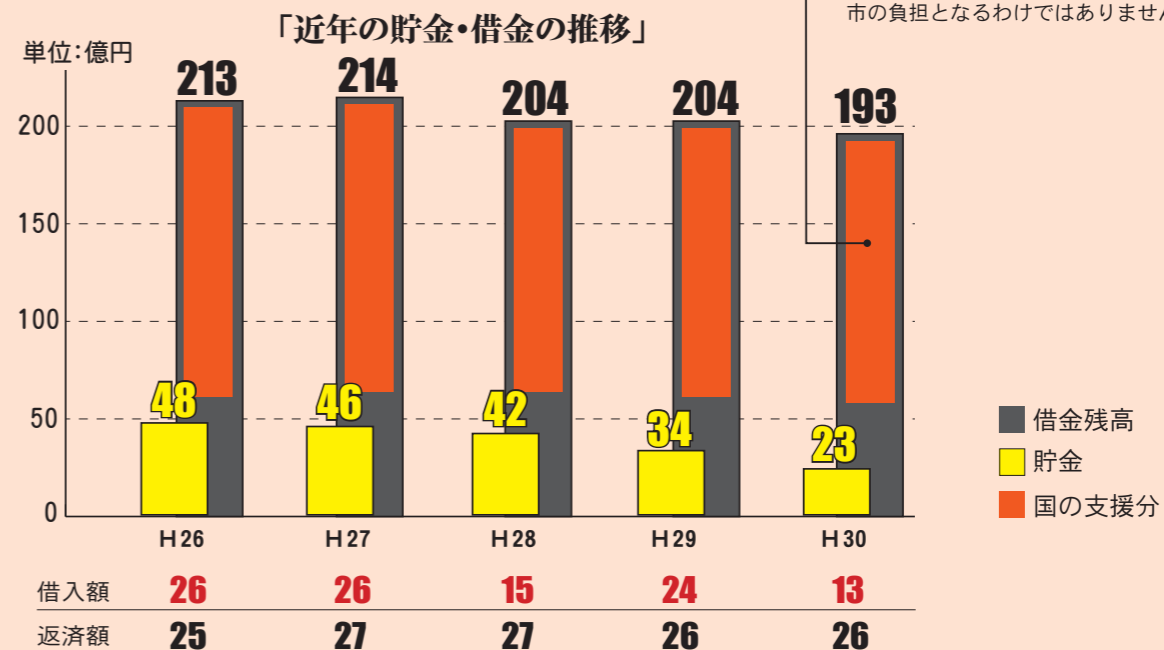
また、市債については、財政の健全化計画に基づき、借入額よりも返済額を多くし、借金残高を少しずつ減らしていくように努めています。

#### 取り組みのポイント

- ★主要事業の見直し
- ★経常経費の削減
- ★補助金の見直し
- ★実質負担が少ない借金を選択
- ★借金残高の減少を適切に管理

ここは、国が支援。

■は、返済時に国の支援が受けられます。よって、借金残高のすべてが市の負担となるわけではありません。



# 総合力で頑張ります！ 市役所の組織再編

**市** は昨年9月に本庁舎を供用開始し、市内に分散していた市役所機能を本庁舎・とびあ庁舎に集約。さらに、効率的な行政運営と行政サービスの向上、職員数の適正化を図るため、本年4月に組織再編を行います。

基本方針は▷市総合計画の2つの共通優先方針である「産業振興・雇用確保」「少子化対策・子育て支援」に対応▷スリム化▷分かりやすくシンプルに—の3つです。特に、平成17年の新・遠野市誕生から職員数が約4分の3に減少していることなどを踏まえ、部署間の連携が密になるよう組織の集約化を図り、総合力が発揮される体制の構築を目指しました。

総合力

職員数(一般職)

H17年 **406人** → 削減 → H29年 **292人**



## 組織再編の概要

- ★**総務企画部**…総務部と経営企画部を統合。政策推進担当とICT推進担当を、政策担当とICT担当に名称変更。
- ★**健康福祉部**…長寿課と保健医療課を統合し、健康長寿課に。医療連携室を新設。
- ★**子育て応援部**…総合食育センターと子育て総合支援センターを統合。こども政策課、母子安心課と総合食育課を新設。
- ★**産業部**…産業振興部と農林畜産部を統合。観光交流課、商工労働課、六次産業室、農林課と畜産園芸課(アスト)を新設。
- ★**環境整備部**…本庁舎建設室と都市計画課を統合し、

- まちづくり推進課に。地域開発戦略推進室を地域開発室に名称変更。
- ★**消防本部**…保安施設課を消防総務課に統合。
- ★**市民センター**…遠野文化研究センターを研究機関として新たに位置付け、調査研究課を文化課に統合。
- ★**教育委員会**…教務課を学校教育課に統合。

【**新組織に事務を移管し、廃止するもの**】  
臨時福祉給付金推進室、  
SL停車場プロジェクト推進室、  
スポーツツーリズム推進室、中高連携サポート室

## これまで

部	課・室など
総務部	総務課、防災危機管理課、税務課、市民課、市民サービスコーナー
経営企画部	政策推進担当、財政担当、ICT推進担当
健康福祉部	福祉課、臨時福祉給付金推進室、長寿課、保健医療課、中央診療所、歯科診療所
産業振興部	商工観光課、SL停車場プロジェクト推進室、連携交流課
農林畜産部	農業振興課、農家支援室(アスト)、林業振興課、畜産振興課、馬事振興課
環境整備部	建設課、地域開発戦略推進室、都市計画課、本庁舎建設室、環境課、清養園クリーンセンター、水道事務所
市民センター	市民協働課、生涯学習スポーツ課、スポーツツーリズム推進室
遠野文化研究センター	調査研究課、市史編さん室、文化課、図書館、博物館
子育て総合支援センター	子育て総合支援課
総合食育センター	総合食育推進課、学校給食センター
教育委員会	教務課、学校教育課、中高連携サポート室
消防本部	消防総務課、保安施設課、遠野消防署、宮守出張所

会計課、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、  
農業委員会事務局、議会事務局、遠野教育研究所、宮守総合支所

12部  
54課室  
など

- ★「**産業振興・雇用確保**」、**「少子化対策・子育て支援」**に対応
- ★**スリム化**
- ★**分かりやすくシンプルに**

## 4月から

部	課・室など
<b>総務企画部</b>	総務課、防災危機管理課、市民課、 <b>政策担当</b> 、財政担当、税務課、 <b>ICT担当</b>
<b>健康福祉部</b>	福祉課、 <b>健康長寿課</b> 、 <b>医療連携室</b> 、中央診療所
<b>子育て応援部</b>	<b>こども政策課</b> 、 <b>母子安心課</b> 、総合食育課
<b>産業部</b>	<b>農林課</b> 、 <b>畜産園芸課(アスト)</b> 、 <b>商工労働課</b> 、 <b>観光交流課</b> 、 <b>六次産業室</b>
<b>環境整備部</b>	建設課、 <b>まちづくり推進課</b> 、 <b>地域開発室</b> 、環境課、水道事務所
<b>消防本部</b>	消防総務課、遠野消防署、宮守出張所
<b>市民センター</b>	市民協働課、生涯学習スポーツ課、文化課、市史編さん室、図書館、博物館
<b>教育委員会</b>	学校教育課

会計課、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、  
農業委員会事務局、議会事務局、遠野文化研究センター、  
遠野教育研究所、宮守総合支所

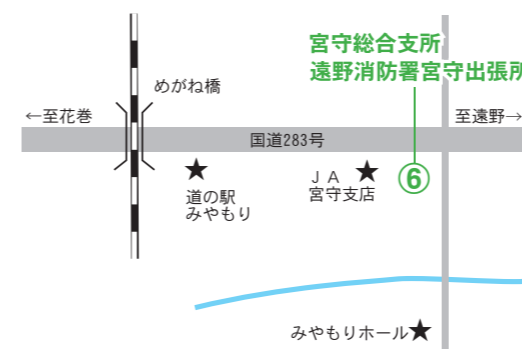
8部  
42課室  
など

## 主な仕事を紹介

部	課・室など	主な仕事	施設
総務企画部	総務課	人事・給与、市議会議案関係、情報公開 など	①市役所とびあ庁舎
	防災危機管理課	災害対策、災害支援 など	
	市民課	戸籍、住民票、埋・火葬許可、印鑑証明、外国人登録、パスポート、自動車臨時運行許可、国保・年金、児童手当、後期高齢者医療保険、医療費助成 など	
	政策担当	総合企画・調整、経営改革、秘書、要望、報道発表、広報・広聴、統計調査 など	
	財政担当	予算・財政、財政事情の公表、土地取引届出の受理、市有財産の管理、入札・契約 など	
	税務課	市税などの課税・収納、各種税証明 など	
	ICT担当	情報化の推進、遠野テレビ加入申し込み など	
会計課	公金の出納・保管		
選挙管理委員会事務局	選挙関係事務		
健康福祉部	福祉課	地域福祉、献血・赤十字事業、生活困窮者自立支援、生活保護、障がい者福祉 など	②遠野健康福祉の里
	健康長寿課	介護保険、高齢者福祉、健康増進事業、在宅医療・介護予防ケア推進 など	
	医療連携室	医師確保、医療体制の整備、医療機関連携、診療所 など	
	地域包括支援センター	介護予防、総合相談・支援、権利擁護、認知症支援、地域ケア など	
子育て応援部	こども政策課	子育て支援、少子化対策、結婚支援、ひとり親支援、寡婦福祉、家庭・女性相談、幼稚園・保育園・認定こども園、児童館・児童クラブ、療育支援 など	③子育て総合支援センター（東館庁舎）
	母子安心課	予防接種、母子保健、助産院、産前・産後ケア など	②遠野健康福祉の里
	総合食育課	食育の普及 など	④総合食育センター
産業部	農林課	農業振興、担い手育成、集落営農・農地集積の推進、鳥獣害対策、林業振興、森林保全、火入れ許可 など	①市役所本庁舎
	畜産園芸課(アスト)	農業者・新規就農者支援、畜産振興、家畜防疫・衛生対策、市営牧野、馬事振興、園芸振興 など	
	商工労働課	商工業の振興、雇用創出、就労支援、起業支援 など	
	観光交流課	観光振興、都市間交流、移住対策、遠野ツーリズムの推進 など	
	六次産業室	六次産業化、地産池消、特産品の開発・宣伝 など	
環境整備部	建設課	道路・橋梁・河川・水路の管理、市営住宅、国土調査 など	①市役所とびあ庁舎
	まちづくり推進課	中心市街地の整備、都市計画、土地区画整理、公共建築物の設計 など	
	地域開発室	遠野東工業団地整備、道の駅「遠野風の丘」の拡充整備 など	①市役所本庁舎
	環境課	一般廃棄物(ごみ・し尿)の収集と処理、狂犬病予防、火葬場、市営墓地の管理、環境保全、保養センター など	
	水道事務所	上水道の管理、水道料金の収納、開閉栓の受付、公共下水道の管理、浄化槽設置、農業集落排水の管理 など	
監査委員事務局	監査関係事務		
農業委員会事務局	農地の売買・転用手続、農用地等の諸証明書発行 など		
議会事務局	市議会関係事務		

部	課・室など	主な仕事	施設
消防本部	消防総務課	消防・防災対策、危険物規制事務・保安規制事務、消防施設などの管理 など	⑤総合防災センター
	遠野消防署	消火活動、救急・救助、各種届出の受付、消防団・婦人消防協力隊 など	
	遠野消防署宮守出張所	宮守出張所管内における消防事務	⑥遠野消防署宮守出張所
	宮守総合支所	市役所業務全般の窓口、地域振興、地域づくり など	⑥宮守総合支所
市民センター	市民協働課	地域づくり、各種相談窓口、市民センター施設の利用 など	⑦市民センター
	生涯学習スポーツ課	生涯学習、男女共同参画、市民団体の育成、芸術・文化・スポーツの振興 など	
	文化課	文化財の保護、遠野遺産の認定、郷土芸能の振興 など	⑧市立図書館・博物館
	市史編さん室	市史の編さん	
	遠野文化研究センター	遠野の歴史や文化の調査研究 など	
	市立図書館	図書館の管理運営、移動図書館、視聴覚教育 など	
市立博物館	博物館の管理運営、郷土資料、展示会の開催 など		
教育委員会事務局	学校教育課	転・入学、奨学金、学校保健、教職員研修、教育課程・学校教育に関する専門指導 など	③子育て総合支援センター（東館庁舎）
	教育研究所	調査研究、ことばの教室、教育相談 など	
	学校給食センター	給食調理・配送、栄養指導 など	④総合食育センター

### 宮守地区



### 中心市街地





# 国民健康保険税の 税率が変わります

**本**年4月から、国民健康保険制度の財政運営が、都道府県単位に変わります(詳しくは、広報遠野3月号をご覧ください)。これにより、各市町村の国民健康保険税の税率も、県が示す「標準保険料率」を参考に決定することとされました。本市では、この標準保険料率に近づけていくために、平成30年度から税率を改正します。

なお、標準保険料率は毎年更新されますが、県の運営方針が3年ごとに見直しされることから、市の税率改正のタイミングも3年ごととする方針です。

個別の税額については、7月以降に発送する納税通知書で確認してください。

◎問い合わせ 市税務課(☎62-2111内線133)

## 平成30年度の税率改正のポイント

### ★資産割を廃止します

これまで、所得割・資産割・均等割・平等割の4つの合計で課税していましたが、今後は県が標準とする方式に合わせ、資産割を廃止します。

### ★均等割を最大で5,000円 引き上げます

資産割の廃止分を補うため、均等割を3年ごとに段階的に引き上げます。

### ★所得割と平等割は据え置き

所得割と平等割は、平成29年度の税率のまま据え置きます。

## 平成29年度

区分	所得割額	資産割額	均等割額	平等割額	限度額
医療給付費分	7.2%	18.0%	17,400円	20,400円	540,000円
後期高齢者支援金分	1.5%	6.8%	5,100円	4,000円	190,000円
介護納付金分(40~64歳)	1.8%	4.0%	5,400円	7,200円	160,000円

## 4月から(平成30年度)

区分	所得割額	資産割額	均等割額	平等割額	限度額
医療給付費分	7.2%	廃止	19,400円	20,400円	(※)580,000円
後期高齢者支援金分	1.5%		6,500円	4,000円	190,000円
介護納付金分(40~64歳)	1.8%		7,000円	7,200円	160,000円

※医療給付費分の限度額の引き上げは、法律改正によるものです

【広報遠野増刊号】平成30年度遠野市予算概要

もっと知りたい!

## 遠野の予算

発行 / 遠野市

〒028-0592 岩手県遠野市中央通り9番1号

TEL0198-62-2111 FAX0198-62-3047

E-mail: tonocity@tonotv.com

印刷 / 遠野コロニー

仕事

子育て

地域

まるごと応援予算